

感性表現・感情表現について

—M.Gabriel「新しいメディア」に関連した考察—

○氏名 森田英夫 Morita Hideo

Keywords : 透明電気通信網、感性表現、感情表現、旧インターネット 7Layers、スキンシップ

1 本研究の目的：最近の情報通信の分野の動向の一つに、「新しいメディア、出でよ」というこれはドイツの新進哲学者 m.ガブリエルの主張のひとつであるが、筆者等が従来から提案している「基幹透明電気通信網」はその有力手段の一つと考える。この「新しいメディア」では、“感性表現”や“感情表現”の取り込みが必須である。

2 方法：

本研究の調査・分析方法は、参考文献にあげた内外の論文を参考にし、また私が過去に発表した論文における論旨の再構築をすることである。

3 結果・分析の結果：

「新しいメディア」の先駆的な情報通信システムの一形態としてそれが備えるべき要点は；

- ① 民主的なインターネットの理想形であること、国家や権力・資本力などによる情報通信における壟断のないこと。
- ② false,fake など対策用センターを備えた透明電気通信網を経由していること。
- ③ 女性や外国人や若者やアンチプロパーの気持ち・感情への理解ある情報内容と、それへの共感と呼び起こすようなMMI (Man Machine Interface)をもったメディアであること。
- ④ 電気通信システムを使用するメディアであって、“感性表現”や“感情表現”を取り込めるMMIを備えている。

国際標準化機構 ISO 制定のモデル ISO 7 Layers が OSI (Open System Interconnection) のプロトコルのフレームワーク (枠組み) とされています。実際の利用に適した効率の良い標準通信プロトコルが TCP/IP でこれが現在のところデファクトスタンダード (事実上の標準) とされています。アメリカ主導の LAN やインターネットの開発・普及で現在の GAFAM の支配的な情報通信の世界があり関連する世界経済があるのです。現在のインターネットの将来系は ISO でも ITU(国際電気通信連合)でも研究され検討が行われていますが、そこでの中国と先進民主国家群との対立で直ぐには成果は見えません。④に関しての、追加説明であるが、ここでいう感情 (喜怒哀楽) 表現のベースには、誕生直後の赤ん坊と母親とのスキンシップを通じてのコミュニケーションがある。本能に近い感情表現による情報通信である。赤ん坊と母親間の、赤ん坊誕生 2～3 ヶ月の、言語表現獲得前の本能に近い感情表現による情報通信は、全世界の人間社会をカバーする共通伝達可能情報の一種と考えられる。

4 結論：現状いくつもの異なる言語で使用されているインターネットに対して、上記の乳幼児期のスキンシップによる母子通信は、これは全世界・全地域に共通であって、ガブリエルの主張「新しいメディア」を考える際の、情報通信での注目すべき切口である。

したがって、新しいメディアにおける第 7 層アプリケーション層と第 6 層プレゼンテーション層には MMI としての生態学的機能のデジタル化がより多くを取り込まれ、仕草同志のコミュニケーションも可能となって然るべきである。MMI に眼耳鼻舌声味触の生態学的機能のデジタル高度化などを取り込めば、現在のテキスト映像音響メディアを超えたコミュニケーションが可能であるし、顔表情仕草等から信念・欲求・意図を読み取り、法的対応としての取り組み向上も十分出来るのである。